

若葉ゆめの園通信

No. 027

発行日：2020年06月11日
編集&発行：若葉ゆめの園広報
電話：03-3935-5780
FAX：03-3935-5790

ハーバリウム作り

ショートステイ5月母の日・レクリエーションを行いました。「この歳になって母の日？」と仰る方もいらっしゃいましたが、いざ活動が始まると皆さん真剣に取り組まれ無言！ある程度進むと「難しいなー」「これでいいかなー」と頼りになる職員と一緒に見事にオリジナルハーバリウムを完成させてくださいました。



お花が「きれい」「可愛い」などのお声を頂き、またお持ち帰り頂くことに関してもとても喜んで頂けました。



フルーツポンチ作り

4階三、四丁目で涼しげな「フルーツポンチ」を作り、みんなでおやつに召し上がりました。材料をみんなでボールに移し、混ぜた後に冷やしたサイダーにラムネを入れて一気に大噴水!! 皆さん大喜びでした。その後、お一人様用のカップによそり「隠れミッキー」を探しながら楽しみました。



←隠れミッキー



梅雨の候

拝啓 入梅の候、コロナと共存する新たな生活様式の実践は不自由さもありますが、身の安全は何物にも代えられないと心得て過ごしておりますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？ 緊急事態宣言が解除されたとはいえ、まだまだ安心のできない状態が続いております。ご面会の制限につきましても東京都指針のロードマップ、ステップの状況や全国老人福祉施設協議会の面会解除に対する考え方を基準に検討し時間を分けさせていただいたりご面会者様同士が重なる時間の無いようにといった工夫をしながら少しずつご面会制限を解除していこうと検討をしております。長期にわたりご不便をおかけし申し訳ございません。重ね重ねご理解とご協力をいただきありがとうございます。

5月の駅弁と郷土料理

令和2年5月13日（水）滋賀県の郷土料理「さばそうめん」"焼いた鯖を甘辛いしょうゆ味のだし汁で煮込み、その煮汁で味付けしたそうめんと共に食べる料理で、汁なしで頂くのが特徴です。田植えの忙しくなる5月、農家へ嫁いだ娘を持つ親が気遣い、嫁ぎ先へ焼き鯖を届ける「五月見舞い」という習わしがあり、農繁期に食べられることが多かったそうです。昔、若狭湾から京都へは、鯖を始めとした魚介を運ぶためのルートがあったそうで、そのルートは「鯖街道」と呼ばれて



いました。鯖街道の途中に位置していた地域の為、鯖が手に入りやすかったようです。

令和2年5月18日（月）「黒部宇奈月温泉駅弁大会」



2016（平成28）年1月の京王百貨店駅弁大会で、富山地方鉄道宇奈月温泉駅の駅弁として輸送販売されていたものです。調製元は宇奈月温泉駅前の食堂兼土産物屋。黄色い掛紙には、黒部平野の空撮と中身の写真が使われております。中身は宇奈月米の茶飯に、ブリ照焼と白エビ天ぷらを置き、煮物や漬物を添えるもの。駅弁大会に出てくるには、落ち着いた外観と中身となっていますが大変好評でした。

デイサービス

日々、職員が趣向を凝らした制作レクリエーションを行っています。その中でも、今月は【スタンドグラス風カラーアート】が大好評でした！色のバランスを考えたり、色塗り作業によって細かく手指を使い、集中して取り組むカラーアートは、高齢者の方のリハビリとして注目されています。



フロアーのガラス窓に皆さんの作品を飾らせて頂きましたが、五月晴れの心地よい日差しに、皆さんの作品が映えています♪（はなぐるま）

5月といえば端午の節句(こどもの日)。地域密着型デイサービスはなぐるまでは、5月5日に「菖蒲湯」イベントを行いました。お湯に入れる前の準備として、汚れや枯れ葉を取り除いたり、菖蒲を束ねる作業も手伝って頂きました。



浴室では、皆さん並んで「いらかの波と～雲の波～」と、《鯉のぼり》を歌いながら足湯での入浴を楽しまれました。

お散歩レク

5月26日、火曜日3階一、二丁目で「敷地内のお散歩」を行いました。小雨が降ったり止んだりのあいにくの天気でしたが止んでいるすきを見て開始。久しぶりに長く歩いたり外の空気を吸って気持ちい



いのが半分、正直つかれたのが半分といった様子でしたが「蝶々が飛んでいる」「赤い花が咲いているねえ」「これは何のお花だろうねえ」等、普段の生活の中では言葉にしない事をみんなで会話する声を聞くことができました。



ブルーインパルス

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて医療関係者への敬意と感謝を示すために行なったフライトで、丁度、若葉の



新型コロナウイルスの感染拡大を受けて医療関係者への敬意と感謝を示すために行なったフライトで、丁度、若葉の

